

まっすぐ誠実に皆様の声を県政に！

新潟県議会議員

# 横尾ゆきひで 県議会だより

VOL.3

平成20年元旦号

2008年1月1日発行

■事務所

〒944-0043

妙高市朝日町1-7-23

TEL:0255-70-5211

FAX:0255-70-5212



12月定例会で一般質問をする  
横尾 幸秀 議員

それぞれが、気持ちのよいお正月を迎えましたことと存じます。

昨年4月に行われました合併後初の県議会議員選挙では、大変な激戦でしたが皆様のご支援を賜り、何とか県政の一翼を担わせていただくことができました。心より感謝申し上げますと共に、責任の重大さを肝に銘じ、妙高市発展のため全力を尽くすことを、改めて誓うものです。

さて、昨年の新潟県の話はなんと言っても、3年前の中越大震災に続き、7月16日に発生した中越沖地震の大災害により、多くの犠牲者と被災者がでたことです。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

この地震で、住宅などの倒壊や多くのインフラの被災、中でも柏崎・刈羽原発が直撃を受けました。放射能漏れによる被害が出なかった事が不幸中の幸いでしたが、地元の皆様に与えた精神的苦痛と、風聞で地域産業が受けました大打撃は、今日になっても、なお影響があります。1日も早い復興を願うものです。

その他にも、特に都市と地方の較差を実感している中で、県政の様々な課題が浮き彫りになってきました。地域医療と医師不足問題、高齢者が大半の中山間地問題、少子化と進学問題、若者が安心して働ける雇用問題、北陸新幹線開通による平行在来線を含む2014年問題、米価の下落問題、高齢者福祉と介護予防問題、新潟水俣病問題、佐渡航路問題、全日空新潟・福岡便休止問題などなど、どれを取り上げてても複雑で大きな社会問題ばかりです。

これらを、ひとつひとつ丁寧に論議して、「住みたい新潟、行ってみたい新潟」の実現に努力してまいり所存であります。

常に感謝の気持ちを忘れることなく、焦らず、小さな事でも真剣に話を聞き、「融和」を大切に少しでも役に立てるよう頑張りますので、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

## 議会報告 県議会12月定例会本会議一般質問にて、「夢おこし」政策プラン、社会資本の維持管理関連

(質問は上記関連内容の19項目にわたり行いましたが、紙面の関係で下記にはその一部を掲載しています。)

### 横尾県議の質問

◆「夢おこし」政策プランについて  
平成19年度首都圏調査の中の「首都圏以外に住んでみたい都道府県」では、新潟県は全体で3.9%、27位となっている。また、平成19年度県民意識調査では、「現在住んでいる地域に住み続けたい」と思っている方が、全体で76.8%となっているが、これらについて知事の所見を伺う。

◆「産業として成り立つ農林水産業の展開」は是非、他県に先駆けて実現しなければならない課題であるが、品目横断的経営安定対策という新制度に生産者はとまどっているのが現状と思われる。全国一律ではなく地域の実情を考慮し、小規模兼業農家でも対象となれるよう制度を見直すべきと考えるが、所見を伺う。

◆本県には県外に誇るべき価値を有する農林水産物が沢山あるが、県外者には余り知られていない現状にある。これからは県外者の印象に残るような農林水産物のアピールを自信を持って行う必要があると考えるが、所見を伺う。

◆冬期間の誘客拡大のためには、スキー客を取り戻すための施策を今後の新潟県観光の重要なテーマとして展開していく必要があると考えるが、所見を伺う。

◆勤務医不足による勤務医の労働環境の悪化が更に勤務医不足を招くという悪循環を防ぐためにも、退職医師の活用などにより勤務医の労働環境改善の取組をすすめるべきと考えるが、所見を伺う。

### 県の答弁

○ 泉田知事の答弁  
首都圏在住者が本県に「住んでみたい」とする割合、県民が「住み続けたい」という割合のいずれも昨年度より若干、増加している。中越沖地震後の調査で落ち込みも考えられたところですが、この間の首都圏への情報発信をはじめとする様々な取組の結果によるものと考えます。  
これらの結果を参考としながら、「若者が未来に夢を持ち、誰もが安心して暮らせる豊かな新潟県の実現」に全力で取り組んでいきたい。

○ 農林水産部長の答弁  
本対策には、基本的な加入要件の他に、中山間地等の実態に配慮し要件を緩和する特例処置が講じられています。しかしながら緩和基準が全国一律の方法で設定されているため、地域の実態にそぐわない場合もあると認識している。  
本対策は1年を経過し、このような課題が明らかになっていることから、基本路線は維持しつつも、地域実態に即した多くの意欲的な担い手が対象となれるような見直しについて国に申し出を行っているところである。

○ 農林水産部長の答弁  
ご指摘のとおり、優れた県産農林水産物を観光客や県外にアピールしていくことは、農業のみならず観光にとっても重要と考える。  
平成18年度から取り組んでいるフード・ブランド事業では、各地域においても、例えば妙高市のエビやドジョウ、魚沼地域のきのこと等、特色有る品目の開拓に取り組んでいる。こうした取組は交流人口の拡大、地域の活性化に大きく寄与するものであり県としても商品開発や観光との連携など各方面から支援したいと考える。

○ 産業労働観光部長の答弁  
県としても、官民一体となって首都圏からの利便性に優れた多様なスキー場をPRするとともに、次世代マーケット育成に加え、外国人スキー客など新たな市場開拓にも取り組んでいる。スキーは本県の重要な観光資源であり、今後ともその活性化に向けて、市場動向に対応した効果的な施策の展開に努めていく。

○ 県の答弁  
県内の多くの病院では、勤務医の確保を図るため、退職年齢の延長や雇用形態を嘱託に切り替える等により、医師の活用を図っている。県立病院においても現在、6人の退職した医師がエルダー医として診療を行っている。  
また、県医師会が今年度創設した、へき地等への短期の代診医を派遣するドクターショートサポートバンクに、退職医師にも積極的に協力していただくこと等を通じて、勤務医の労働環境改善に努めていく。



詳しくは、下記URL”にいがた県議会だより”  
で是非ご覧ください。  
<http://www.pref.niigata.jp/gikai>



# “横尾ゆきひで”のまっすぐ汗かき活動記

10月

## 31日 特別養護老人ホーム「ブナの里」安全祈願祭

旧原通小学校跡地に、特別養護老人ホーム「ブナの里」の安全祈願祭に出席。事業主は社会福祉法人 妙心福祉会。平成20年秋頃、開設予定。規模はホーム80床、ショート20床の予定。当日は入村妙高市長、横尾県議はじめ25名ほどが出席。



11月

## 6日 石塚・大崎土地区画整理事業起工式

石塚・大崎土地区画整理組合施工地鎮祭並びに起工式に出席。



## 7日 武藤農林水産部長が農林水産関係事業を視察

県の武藤農林水産部長が、妙高雪エビ、杉野沢グリーン・ツーリズム、農産物直売店とまと、妙高ガーデンの大葉とハーブ栽培、農林宿泊施設・大滝荘などの妙高市で行われている農林水産関係事業の見地見聞を市の職員と同行し行う。



## 14日 水原地区の砂防指定地域を見聞

妙高砂防事務所長、同所工務課長、地区区長など地元役員と同行して、水原地区における砂防指定地域の実施地区状況及び要望地区の見聞を行う。



## 23日 地区集落の皆様と中山間地農業について講演

両善寺公民館にて、地区集落の皆様と中山間地の農業について、約1時間の講演を行う。

12月

## 5日 12月定例県議会が始まる（会期17日間）

## 12日 12月定例議会本会議にて初の一般質問を行う

本会議にて、「夢おこし」政策プラン、社会資本の維持管理、などについて知事並びに関係部局長に質問を行う。



## 同日 12月定例議会を傍聴

県議就任後、初めての本会議での一般質問を、有志ら21名が神妙な面持ちで傍聴しました。



## 13日～ 常任委員会（産業経済委員会）が始まる

産業労働観光部長には、近隣諸外国からの観光客誘致のうち、新潟空港からの料金緩和と冬期間の誘客等について質問。担当部局長からは、料金緩和については何とかする方向で考えたい。また、富山県との連携で冬期間の誘客拡大を図りたい。

### 《 県政報告会を開催しました 》

- ・ 11月11日 和田地区協議会にて県政報告会
  - ・ 11月27日 大原地区にて市政・県政報告会
  - ・ 12月 2日 石塚・大崎地区にて市政・県政報告会
- 各地域又は地区で県政報告会のご要望があれば、いつでも事務局にご相談ください。

みんなの声

### ●12月12日、新潟県議会12月定例会の傍聴に参加された方から感想をお聞きました。

- ◆議会傍聴は初めてだが、長年の行政マンの経験を活かし、具体的な内容を取り入れた質問で、態度も声も堂々として感銘を受けた。
- ◆妙高市が取り組む、雪エビ、大葉などの農林水産事業に対し、県としても各方面から支援するという言葉が心強く感じた。
- ◆一般・産業廃棄物バイオマス処理・再資源化を是非とも積極的に進めてもらいたい。
- ◆妙高市の観光の目玉として海外にも観光アピールした、広大な新井リゾートがもったいない。早期の復活を願います。
- ◆妙高市の農産物をもっと全国にアピールし、販売網を拡大してもらいたい。
- ◆赤倉温泉、池ノ平温泉、杉野沢温泉などの良質な温泉と妙高高原の大自然、そして市民の“おもてなしの心”が融合すれば、必ず全国

事務所からのせ



## 平成20年1月14日（月）より”横尾ゆきひで”政治事務所を

●事務所所在地： 妙高市朝日町1-7-23  
電話：0255-70-5211 FAX：0255-70-5212

”横尾ゆきひで”ホームページ URL: <http://www.yokoo-yukihide.com/>

E-mailは、現在手続き中です。手続きが完了するまでは、上記URLのご意見サイトからお願いします。

●開所時間帯： 10:00～16:00（土曜、日曜、祝祭日を除く）

事務員が常駐しています。お気軽にお立ち寄りいただき、私に皆様のご意見をご遠